

一人ひとりのライフスタイルからできること

地産地消を心がけ、旬の食材や自分が住んでいる地域でとれたものを食べる

まだ食べられるのに捨ててしまう「食品ロス」などの無駄な消費をなくす

省エネなど地球温暖化防止に配慮したライフスタイルを心がける

海、山、川などに行き、身近な自然を楽しく経験する

ごみ捨てなどのマナーを守り、自然を汚さない

買い物は、エコラベル商品をチェック!

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS



大阪市生物多様性戦略

2021(令和3)年3月

【本冊子に関するお問い合わせ先】
 大阪市環境局環境施策部環境施策課
 TEL:06-6630-3262
 FAX:06-6630-3580



大阪市生物多様性戦略

大阪市生物多様性戦略

2021-2030



生物多様性の恵みを感じるまち

大阪市

「生物多様性の恵みを感じるまち」をめざして

生物多様性とは、生き物の豊かな「個性」と「つながり」のことをいいます。今、生物多様性は世界的な危機に直面しています。その背景には、グローバルな要因とローカルな要因が複雑に絡みあっており、解決のためにはその双方からのアプローチが必要です。大阪市では、「大阪市生物多様性戦略」に基づき、取組みを進めます。アフターコロナの社会のなかの大消費地大阪において、少しでも自立した社会をつくるため、社会変革に向け一人ひとりが取り組んでいきましょう。

「たこ焼き」も生物多様性のおかげ



たこ焼きは、世界の生物多様性の恵み。タコはモロッコやモーリタニアから、小麦はアメリカ、カナダ、オーストラリアなどから輸入されています。

私たちの暮らしは、生物多様性のもたらす恵み「生態系サービス」に支えられています。例えば、大阪名物「たこ焼き」に欠かせないタコは、海の供給サービスのひとつです。江戸時代には諸国の食材があつまる「天下の台所」として栄えた大阪は、豊かな食材の数々から生まれた食文化など、様々な形で生物多様性の恵みを受けています。

生物多様性の4つの恵み

1 供給サービス ヤマトシジミ 私たちが生きていく上で必要な食へ物、衣類、燃料などを提供するはたらき	2 調整サービス 森林による土砂崩れ防止、洪水防止など、環境を制御し安定させるはたらき	3 文化的サービス 深江の宵空 文化面や精神面において私たちの生活を心豊かに楽しもにするはたらき	4 基盤サービス 光合成による酸素供給や土壌の形成など、生命が生存する基盤を提供するはたらき
---	---	---	--



北前船などが運ぶ日本各地の食材によって生まれた大阪の食文化も、生物多様性の恩恵のひとつ。

菱垣新綿番船川口出帆之図

いま、生物多様性が危ない

生物多様性は4つの危機に直面しており、私たちの消費活動、経済活動と生物多様性の損失は密接に関係しています。新たな危機として、海洋プラスチック汚染があります。また、新型コロナウイルス感染症拡大をうけ、生態系や野生生物の利用を管理し、健全な生態系と人の健康を促進する生物多様性を包括する「One Health(ワンヘルス)」への移行が必要であると言われています。

生物多様性の4つの危機

1 開発等人間活動による危機 森林伐採	2 自然に対する働きかけの縮小による危機 手入れされず竹が侵入した人工林	3 人間により持ち込まれたものによる危機 オオクチバス ネオトリア	4 地球環境の変化による危機 氷河の減少 1978年 2008年
-----------------------------------	--	--	--

全国地球温暖化防止活動推進センターホームページより
 (http://www.jccca.or.jp/)

